

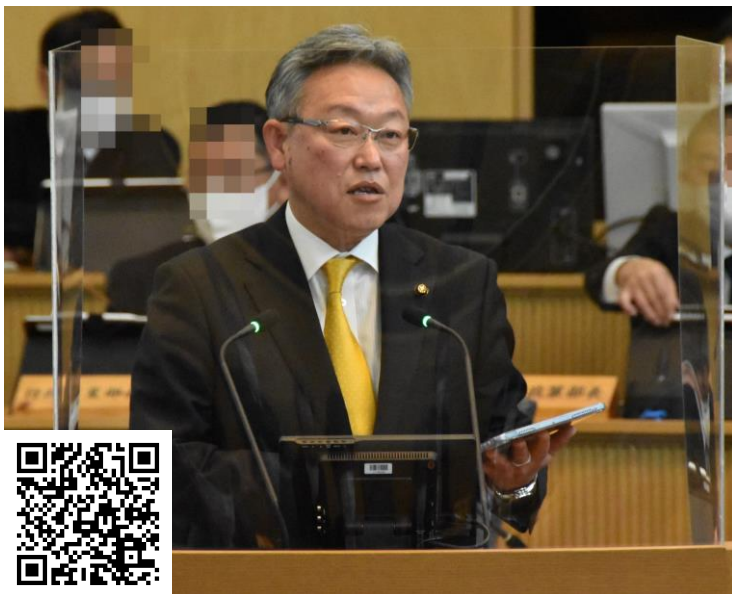
久保田たかし活動最前線

発行：久保田たかし後援会・太田市民懇話会

令和5年度一般会計予算894億円（過去最大）

令和5年度予算は太田市が国や県に先駆けて積極的に取り組んできた子育て支援策について、さらに子どもへの投資を強化・拡充していく予算となっています。一方で高齢者に対しては、健康寿命の延伸に向けた取り組みや生きがいづくりの場の提供など、引き続き生命と暮らしを守る社会の実現を目指すとしています。また、市民満足度の低い道路網の整備については道路維持経費等を拡充し重点的に取り組みます

これからもみんなが笑顔で安心して生活できる環境をつくっていきけるよう頑張ります。



代表総括質疑の様子



インターネットで
ご覧ください

令和4年度予算の特徴

2月10日～3月15日の間で開催された定例会では、令和5年度予算案を中心に審議がされました。一般会計予算の規模は894億円で、前年度に比べて12億円(1.4%)の増となりました。

歳入については、社会経済活動がコロナ禍から回復傾向にあることから、個人市民税と法人市民税、固定資産税の増収を見込むとともに、国・県支出金や企業版ふるさと納税寄付金、財政調整基金からの繰り入れと市債を発行することで財源を確保します。

太田市では借入金の縮減に向け、「償還元金を超えない市債の発行」いわゆる「返済額より多い金額の借金をしない」という財政方針のもと借金を減らしてきましたが、令和5年度は令和4年度に引き続き社会保障費の増や大型の建設事業が実施されることで、当初予算ベースでは償還元金より市債の発行が多い計画となりました。

代表総括質疑

3月定例会では一般質問は行われず、新年度の予算をはじめ、市長から示される施政方針・財政方針に対して総括的な質疑が行われます。

代表総括質疑は会派を代表して行われるもので、会派所属人数によって質問者数が決められています。

◆創政クラブを代表して「令和5年度施政並びに財政方針及び予算に対する代表総括質疑」

令和5年度の行財政運営に向け、3項目について質疑を行いました。

(1)令和5年度予算編成について

令和4年度に引き続いて、本市が誇る「償還元金を超えない市債の発行」という財政規律が新年度も当初予算ベースで堅持することができない状況となっている。本市の財政規律は市債残高の上限を設けるなど、財政規律の新たな指標の検討について。

本市におけるふるさと納税は、このままでは収支がマイナスに転じる可能性が高い。魅力ある返礼品の開拓など、本市へのふるさと納税を増やす施策について。

(2)本市の環境施策について

本市は2050年カーボンゼロを宣言し、CO2排出量の削減に向けて取り組んでいる。

新年度に予算化されている公用車のEV自動車導入の概要について。

公共施設における照明機器の早期LED化の取り組みについて。

快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにする「ZEB（ネット・ゼロ・エネルギービル）」の取り組みについて。

(3)本市のまちづくり施策について

本市下流域の治水対策としての「田んぼダム」実施団体への補助金の拡充と新年度に予算化されている「水田貯留施設整備事業」の概要について。

高齢者等の交通弱者に対する施策と、高齢者の日常の楽しみでもある買い物支援について。

本市が周辺市町と共同で行っている事業の種類とその概要について。

令和4年の我が国の出生数が80万人を割り込んだ。人口減少は様々なことに影響を及ぼすとされているが、本市における人口減少への対応について。

健康福祉委員会

◆請願紹介議員として請願書を提出

群馬県内の医療団体から要請を受け、3月定例会に「安全・安心の医療・介護実現のための人員増と処遇改善を求めることについての請願書」を提出し、委員会、本会議ともに全員賛成で採択され、国に対して意見書を提出することができました。

新型コロナウイルス感染拡大により「医療崩壊」や「介護崩壊」が現実となりました。これは医師や看護師、介護職員や保健師の数が先進諸国に比べて圧倒的に少ないことが根本的な原因とされています。人手不足の解消のためには看護師など、ケア労働者の処遇改善は待ったなしの状況であり、16時間を連続で働き続けなければならない過酷な長時間労働や、寝る間もないほど極端に短い勤務間インターバルを解消するために、労働時間規制を含めた実効性ある対策が必要です。

感染症の蔓延や災害発生時など、有事の際に市民を守るケア労働者の処遇改善は喫緊の課題とされています。

太田市議会として以下の項目について意見書を提出しました。

1. 安全・安心の医療・介護を実現するため、医師・看護師・介護職員などの増員を図るため、配置基準を見直すこと。また、安定した人員確保のためにも、ケア労働者の賃上げを支援すること。
2. 医療や介護現場における「夜勤交替制労働」に関わる労働環境を抜本的に改善すること。
 - ①労働時間の上限規制や勤務間インターバルの確保、夜間勤務回数の制限など、労働環境改善のための規制を設け、実効性を確保するための財政的支援を行うこと。
 - ②夜勤交替制労働者の週労働時間を短縮すること。
 - ③介護施設や有床診療所などで行われている「1人夜勤体制」をなくし、複数人夜勤体制とすること。
3. 新たな感染症や災害対策に備えるため、公立・公的病院、保健所の機能強化など公衆衛生体制を拡充すること。

統一地方選挙 市議選投票日は4月23日(日)

群馬県議会議員選挙投票日は4月9日(日)

今年は4年に一度の統一地方選挙が行われます。「興味がない」では済まされません。なぜなら、私たちの生活は政治と深く関係しているからです。

そして私たち議員の集まりの議会では、市民生活に直結する政策や条例を議論し、決定しています。

ですから、私たち議員は市民に対して重い責任を負っていることを自覚しなければなりません。緊張感をもって真摯に議論することを忘れずに活動していくことが議員としてのとても大切な資質だと思います。

一方で、有権者である市民の皆さんには「選ぶ責任」があります。候補者に目を向け、重責を担う資質があるかどうかを見極めてください。

棄権することなく、必ず投票に行きましょう！



市議会議員として4期16年にわたり活動を支えていただいた皆さんには心から感謝申し上げます。今期は新市合併後初となる複数年議長として2年間に太田市議会の代表として活動することができました。現在は創政クラブの代表として会派を取りまとめ、他会派との交渉役を担っています。経験を積むごとに課題の抽出力と対応力・解決力が身につきました。これからも皆さんの役に立つ、頼りがいのある議員を目指して、自らの資質向上に努めます。今後ますます成長する久保田たかしにご期待ください。

ご意見・ご感想をお寄せください。
相談ごともお遠慮なく下記までどうぞ。

久保田たかし後援会事務所

住 所：大泉町坂田1-1-1
TEL：0276-61-9926
FAX：0276-61-8993

統一地方選の「統一」って？

統一地方選挙は地方自治体の知事や市区町村長と議員の選挙について、投票日を統一して全国一斉に行うもので、4年に一度行われます。今回は1947年（昭和22年）4月に1回目の統一地方選挙が実施されたから20回目となります。

総務省によると「投票日を全国で同じにすることで、国民の選挙に対する関心を高めることや、選挙を円滑に効率的に行うことを狙いとしている」また「複数の選挙の投票を同じ投票所でできるため、経費を削減できるメリットがある」ということです。

しかし、統一と言いつつ100%統一されたのは第1回の1947年のみです。議会の解散や市町村合併により選挙日程がズレて、4年前の統一率は27.46%と全国の4分の1しか行われませんでした。

今年の統一地方選挙の統一率は27.43%となる見込みです。

統一率が3割を切っているのに統一地方選挙と呼べるのかどうか。でも、そんなことは気にせず「みんなが投票に行きましょう」ね。

